

中島 亨齋(なかじま きょうさい)

資 料

画帳『画曆』

- ・正月(万歳)から師走(大晦日)までの節句の風景を描いた12葉。
- ・掲載画は「如月(観梅)の図」

作 者

1819(文政2)－1896(明治29)

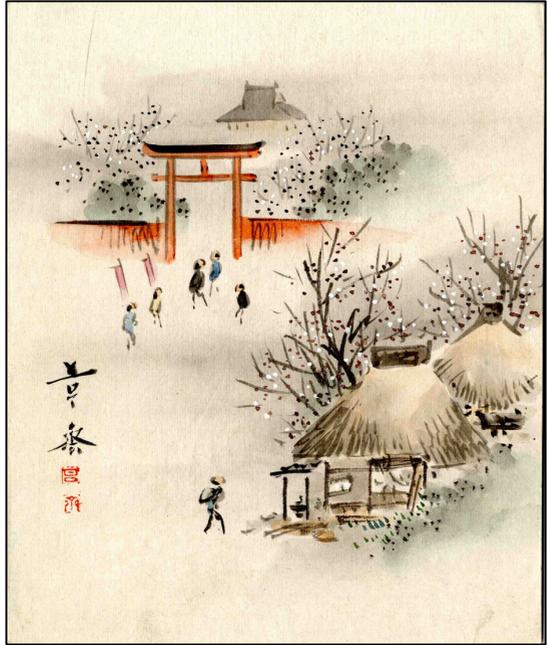
江戸(東京都)生まれ。

菊池容齋に日本画を学ぶ。明治初期に横浜に来て画塾を開き、弟子に鈴木華邨等がい

る。主に輸出物用の絵を描き、横浜画壇の重鎮として活動する。

一時、飯田家にも居住していたが、晩年は築地にある華邨宅で過ごす。

\*中島亨齋の号の読み方については「きょうさい」と「りょうさい」の2通りあるが、本目録では国会図書館の著者典拠に拠り、「きょうさい」とする。



参考文献

『郷土神奈川(47)』(神奈川県立図書館／編・刊 2009. 2

[地域 K09. 7/3/47(60533577)])

「文明開化横浜文雅の群像」(飯田九一／著 1954 本目録に収録)